

科目名			
表象文化演習 —コミュニケーションとアート—			
担当教員名	稲垣 立男	配当年次/単位	3～4年/1セメ2単位、年間4単位
旧科目名 (2007年度以前科目名)		毎年・隔年	毎年開講
旧科目との重複履修		開講セメスター	春・秋
人数制限・選抜・抽選	選抜	他学部への公開	×
授 業 計 画			
1. 授業の到達目標及びテーマ			
今日的な社会の問題を踏まえ、地域社会やコミュニティでのアート・デザインに関する研究を行います。地域を見つめる個人の視点から出発し、公的な空間でのアート・プロジェクトのプロセス、方法論を探ります。			
2. 授業の概要と方法			
2010年度は昨年度に引き続き、いくつかの地域コミュニティとの共同プロジェクトを実施する予定です。前半では大学のある千代田区周辺でコラボレーションを想定したフィールドワークと制作を行います。後半は個人研究、グループ研究を中心に、学外の活動にも積極的に参加します。興味深い展覧会などは随時見学に行きます。			
3. 授業計画			
活動予定			
春	春の合宿 ・美術館などの見学 フィールドワークと作品制作 ・子供のワークショップの実践 ・地域の商店や企業とのコラボレーションなど	秋	学内外のコンペへの参加 ・学生各自が自分にあったコンペを選び応募。 研究発表Ⅱ（国際文化情報学会） ・個人研究、グループ研究の発表
	研究発表Ⅰ ・ギャラリーなどで作品発表	冬	講演会の企画 ・アーティストや研究者などの美術関係者をを招聘 して講演会主催
夏	海外研修（タイ・チェンマイ）※任意参加 ・アーティスト・イン・レジデンスで滞在制作		活動記録集の制作 ・制作報告書と活動記録集の制作
・月に1回おやこで楽しむアート（幼児のためのワークショップ）をアークス・スタジオ（守谷市）で運営します。 ・今年は多くの国際展が開催されます。上海ビエンナーレ（中国）、光州ビエンナーレ（韓国）などを見学します。			
4. テキスト			
5. 参考書			
例として、以下のような研究に関する実践例（プロジェクトや展覧会）および参考文献を各自で参照しておくこと。			
1 福祉施設、博物館、広場や公園など公的空間におけるアートやデザインの研究			
2 病院や学校など、公的な場所でおこなうワークショップなどの研究			
3 地域コミュニティのポータルサイトや映像作品、冊子などの企画制作			
4 地域活性化のためのイベントやプロジェクトなどの計画案			
6. 成績評価基準			
出席と作品、制作報告書により成績評価をします。			
7. 情報機器使用(任意項目)			
作品制作でPCを活用する機会も多いと思いますので、関連した実習授業なども履修しておくとうよいでしょう。			
8. その他			
これまでの経験などは問いませんが、一年間研究課題に意欲的に取り組んでもらうこと、休まずに出席することが条件です。また、個人研究のテーマについて自力で探し、研究を進めていくことになりますので、柔軟性や行動力、忍耐力も必要でしょう。また、アートやデザインなどの関連授業もなるべく多く受講するようにしてください。			